

2024年度「卒業時アンケート」(2024年9月卒・2025年3月卒)

集計結果 概要版

「卒業時アンケート」の概要

立教大学では、2024年度学部卒業生(2024年9月および2025年3月)を対象に「2024年度 卒業時アンケート」を実施しました。ここでは、集計結果の概要をご紹介します。

アンケートにご回答いただいた卒業生のみなさん、ご協力ありがとうございました。立教大学では、このアンケートの結果を、これからの教育の改善に活かしていきます。

調査対象：2024年度学部卒業生(2024年9月および2025年3月)

実施時期：①2024年9月卒業 2024年9月19日(学位授与式当日)

②2025年3月卒業 2025年3月24日・25日(学位授与式当日)

①、②ともに学位授与式次第にはさんで配布、学位記等配布会場で回収(一部、Google フォームによるWeb回答もあり)

調査方法：卒業生を対象とした全数調査

質問紙によるアンケート方式で実施

調査目的：この調査は、4年次(過年度生を含む)における学修状況、および、卒業にあたって本学での学生生活を振り返ってもらい、「身についた力」「大学生活で力を入れたこと」「教育内容の満足度」や「本学への評価」などを調査することで、本学の学士課程教育の質の検証に資するデータを収集し、教務・学生生活関係の情報と合わせて、教育改善のために活用することを目的としています。

回答数と回答率

回答者数：3,420名(2024年9月卒業：54名、2025年3月卒業：3,366名)

回答率：78.9%(2024年9月卒業：30.7%、54名/176名、2025年3月卒業：80.9%、3,366名/4,159名)

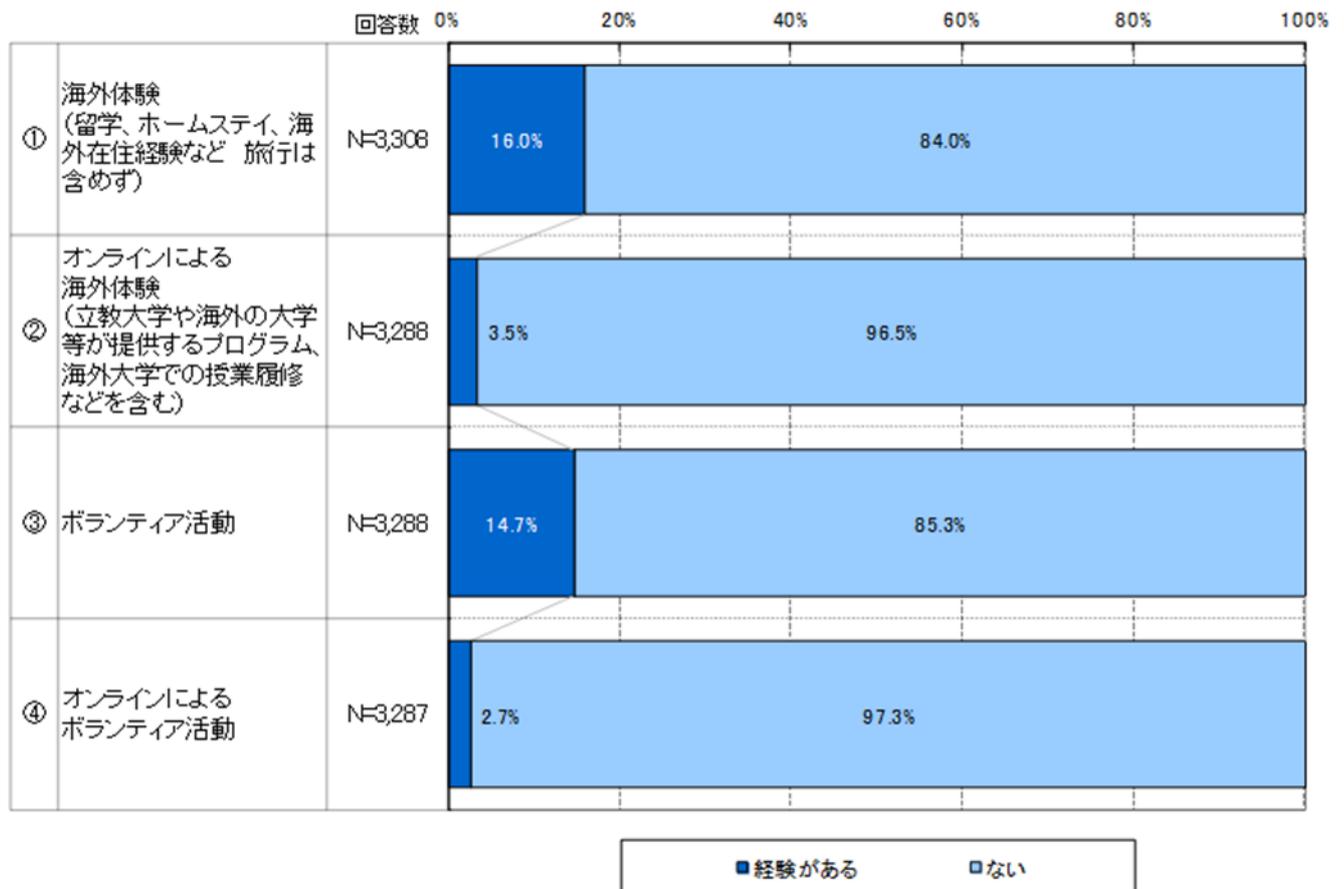
キャンパス	学部	対象者数	回答者数	回答率
池袋	文学部	835	651	78.0%
	経済学部	628	455	72.5%
	理学部	276	239	86.6%
	社会学部	495	383	77.4%
	法学部	531	448	84.4%
	経営学部	328	279	85.1%
	異文化コミュニケーション学部	168	124	73.8%
	グローバル・リベラルアーツ・プログラム	17	15	88.2%
新座	観光学部	366	302	82.5%
	コミュニティ福祉学部	396	270	68.2%
	現代心理学部	295	254	86.1%
合計		4,335	3,420	78.9%

調査結果（概要）

本調査で得られた調査結果の概要をご紹介します。

■Q1.4 年次（休学期間等を除く）の経験

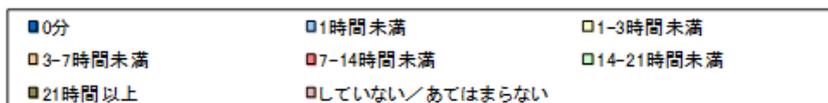
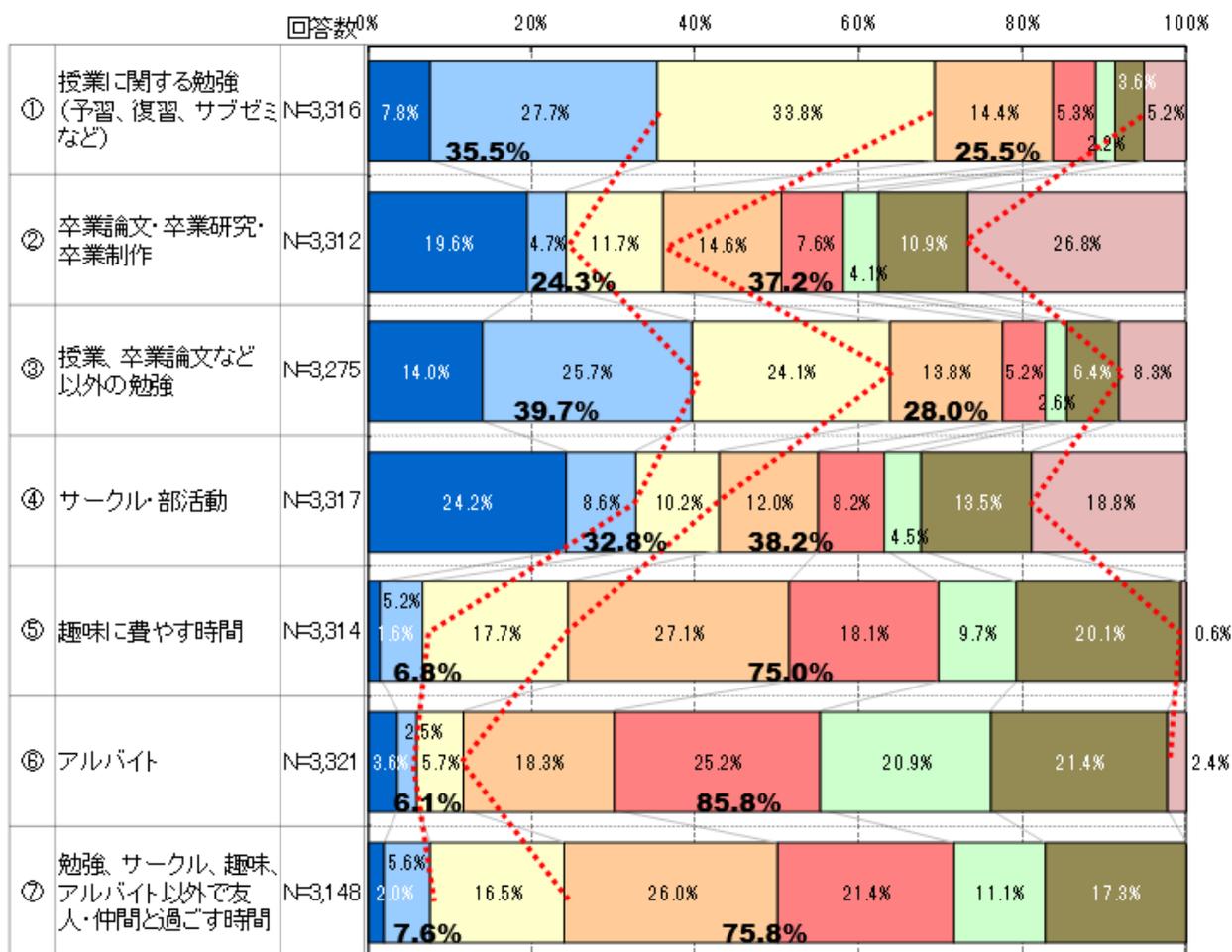
- 海外体験を経験した学生は 16.0%、オンラインによる海外体験を経験した学生は 3.5%、ボランティア活動を経験した学生は 14.7%、オンラインによるボランティア活動を経験した学生は 2.7%でした。



■Q2. 学生生活（1週間あたりに費やした時間）

- 4年次に各活動に費やした時間（1週間あたりの平均）の設問において最も高い割合を得た時間区分をみると、①授業に関する勉強では「1時間～3時間未満」が最も多く33.8%、②卒業論文・卒業研究・卒業制作では「していない／あてはまらない」が最も多く26.8%、③授業、卒業論文など以外の勉強では「1時間未満」が最も多く25.7%となっていました。
- ④サークル・部活動では「0分」が最も多く24.2%、⑤趣味に費やす時間では「3時間～7時間未満」が最も多く27.1%、⑥アルバイトでは「7時間～14時間未満」が最も多く25.2%、⑦上記以外で友人・仲間と過ごす時間では「3時間～7時間未満」が最も多く26.0%となっていました。

※上記の割合（%）には「していない／あてはまらない」に回答した割合も含めて算出しています。



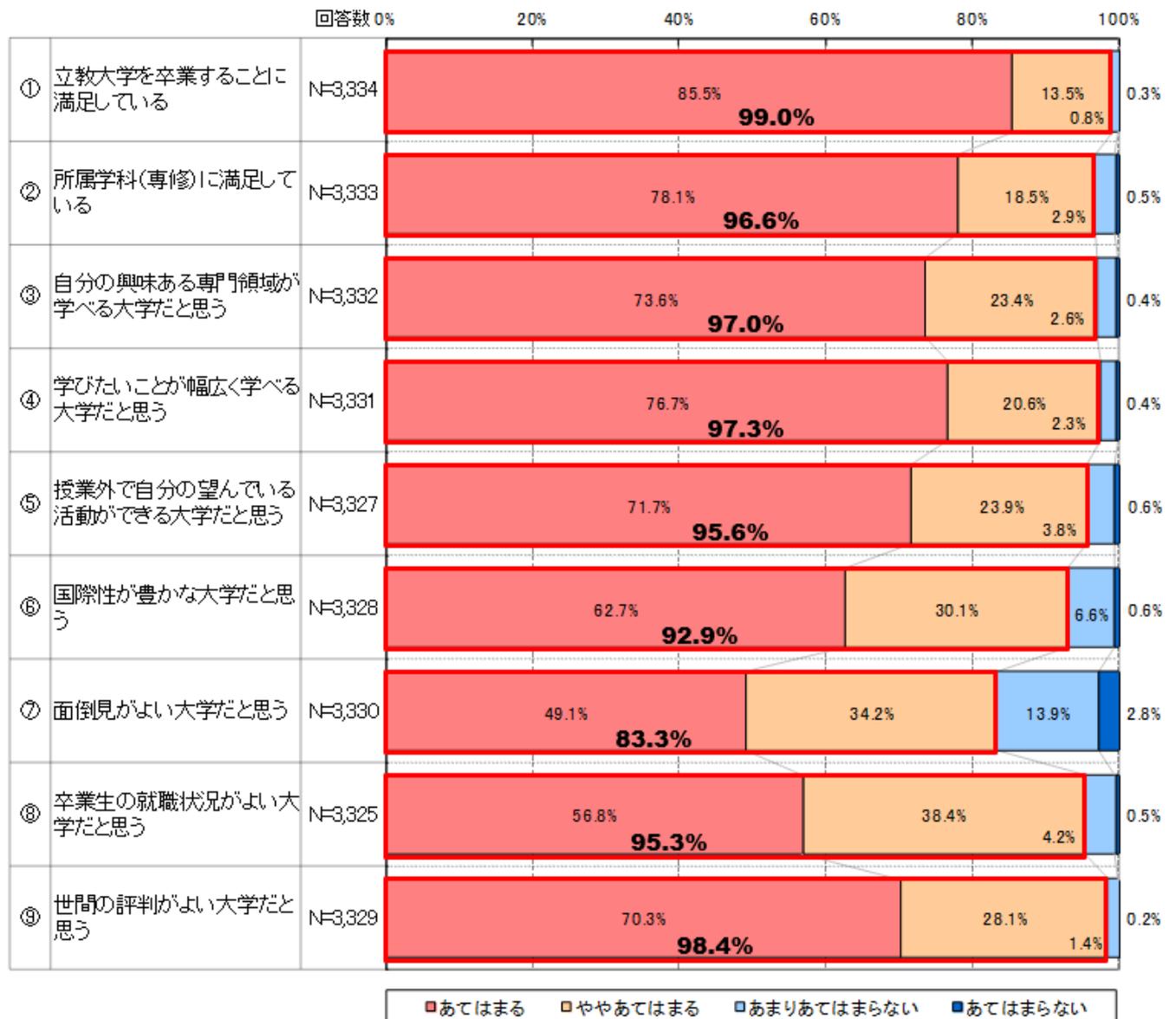
※グラフ中の黒太文字で示した数値は左側が「0分」と「1時間未満」の合計、右側が「3時間～7時間未満」「7時間～14時間未満」「14時間～21時間未満」「21時間以上」の合計となっている。

※「⑦勉強、サークル、趣味、アルバイト以外で友人・仲間と過ごす時間」には「していない／あてはまらない」という選択肢は用意していない。

■Q3. 立教大学に対する評価（含：立教大学を卒業することについての満足度）

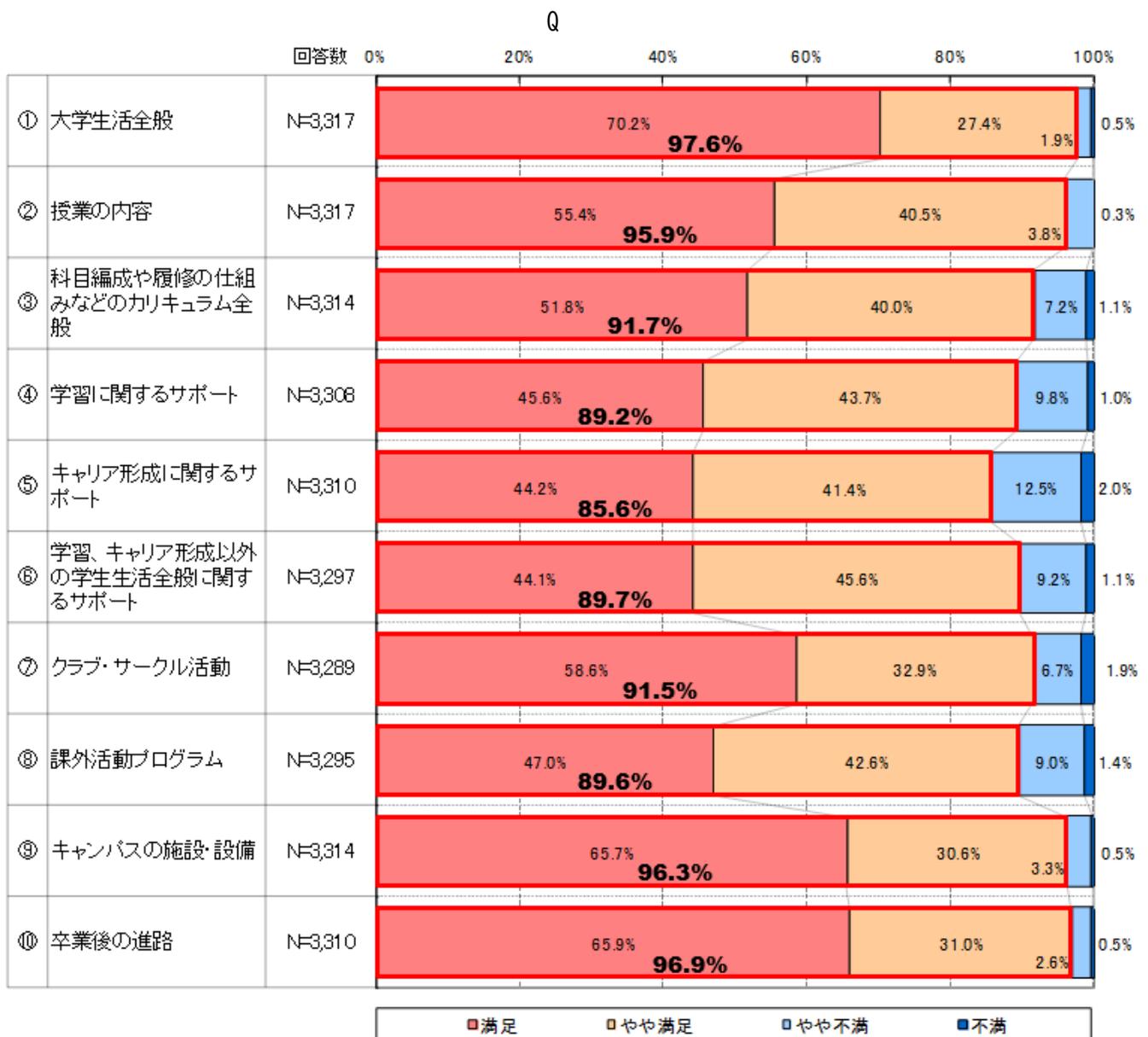
- 「立教大学を卒業することに満足している」に対しては、「あてはまる」が 85.5%で「ややあてはまる」の 13.5%を加えると、99.0%が肯定的な回答となっていました。
- 上記以外の各項目への評価に対しては、「あてはまる」「ややあてはまる」を合わせると、すべての項目で 8 割以上の学生が肯定的な回答となっていました。

■「本学の評価」に関して



■Q4. 満足度（全般）について

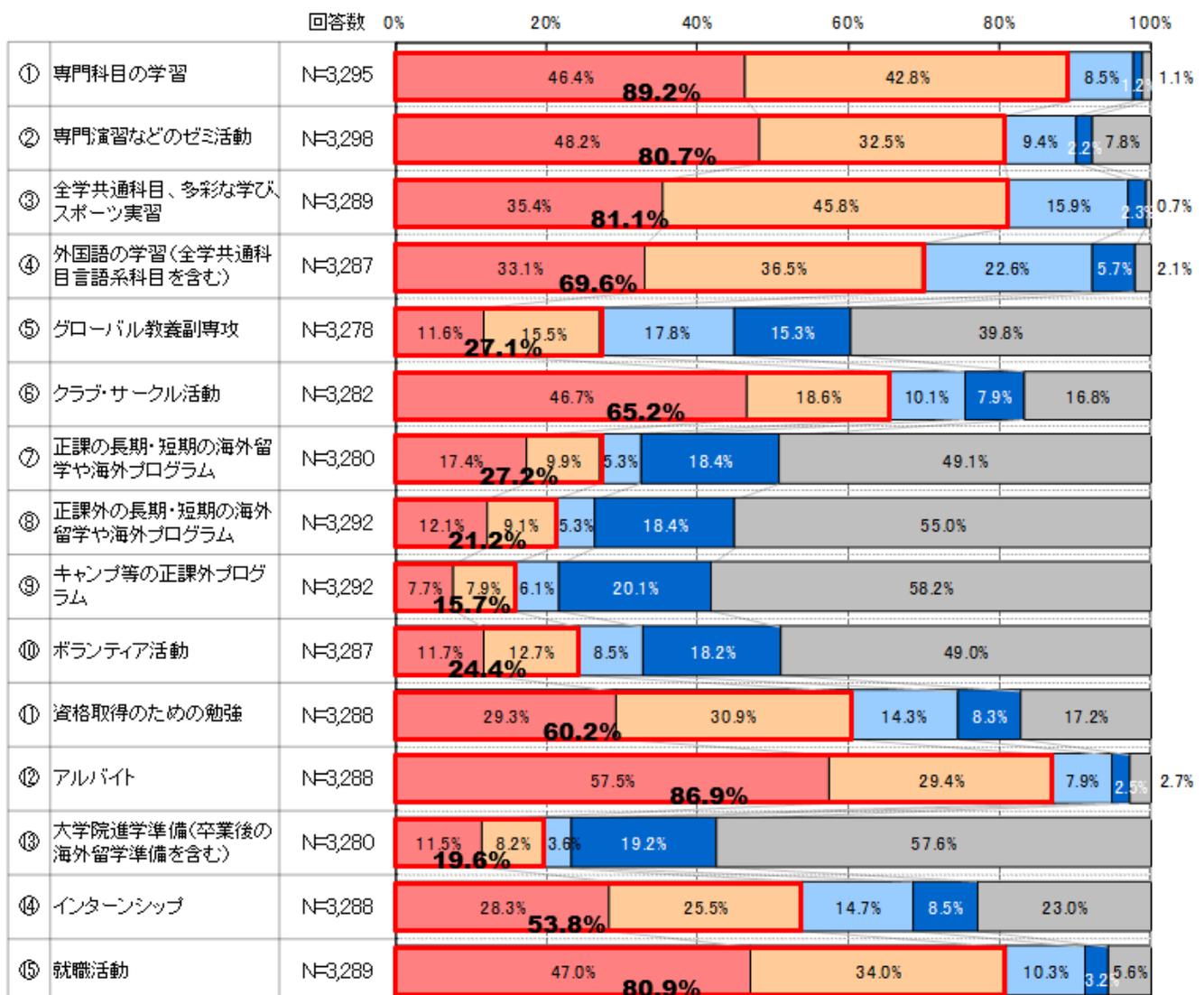
- 「満足度」については10項目のすべての項目で8割以上の学生が「満足」「やや満足」と回答していました。
- 肯定的な回答の割合が最も高かったのは「大学生活全般」の97.6%であり、「満足」も70.2%と最も高くなっていました。上記に次いで、「卒業後の進路」が96.9%、「キャンパスの施設・設備」が96.3%、「授業の内容」が95.9%、「科目編成や履修の仕組みなどのカリキュラム全般」が91.7%、「クラブ・サークル活動」が91.5%となっていました。
- 一方で、肯定的な回答の割合が最も低かったのは「キャリア形成に関するサポート」の85.6%でした。



■Q5. 大学生活・学修に関する取り組み

- 大学生活・学修に関する取り組みについて、「力を入れた」「やや力を入れた」と肯定的に回答した割合が最も高かったのは「専門科目の学習」の89.2%であり、「アルバイト」が86.9%、「全学共通科目、多彩な学び、スポーツ実習」が81.1%、「就職活動」が80.9%、「専門演習などのゼミ活動」が80.7%で続いていました。
- 一方で、肯定的な回答の割合が最も低かったのは「キャンプ等の正課外プログラム」の15.7%であり、「大学院進学準備（卒業後の海外留学準備を含む）」が19.6%で続いていました。
- ただし、「していない／あてはまらない」の割合が最も高かったのも「キャンプ等の正課外プログラム」の58.2%であり、「大学院進学準備（卒業後の海外留学準備を含む）」が57.6%となっています。

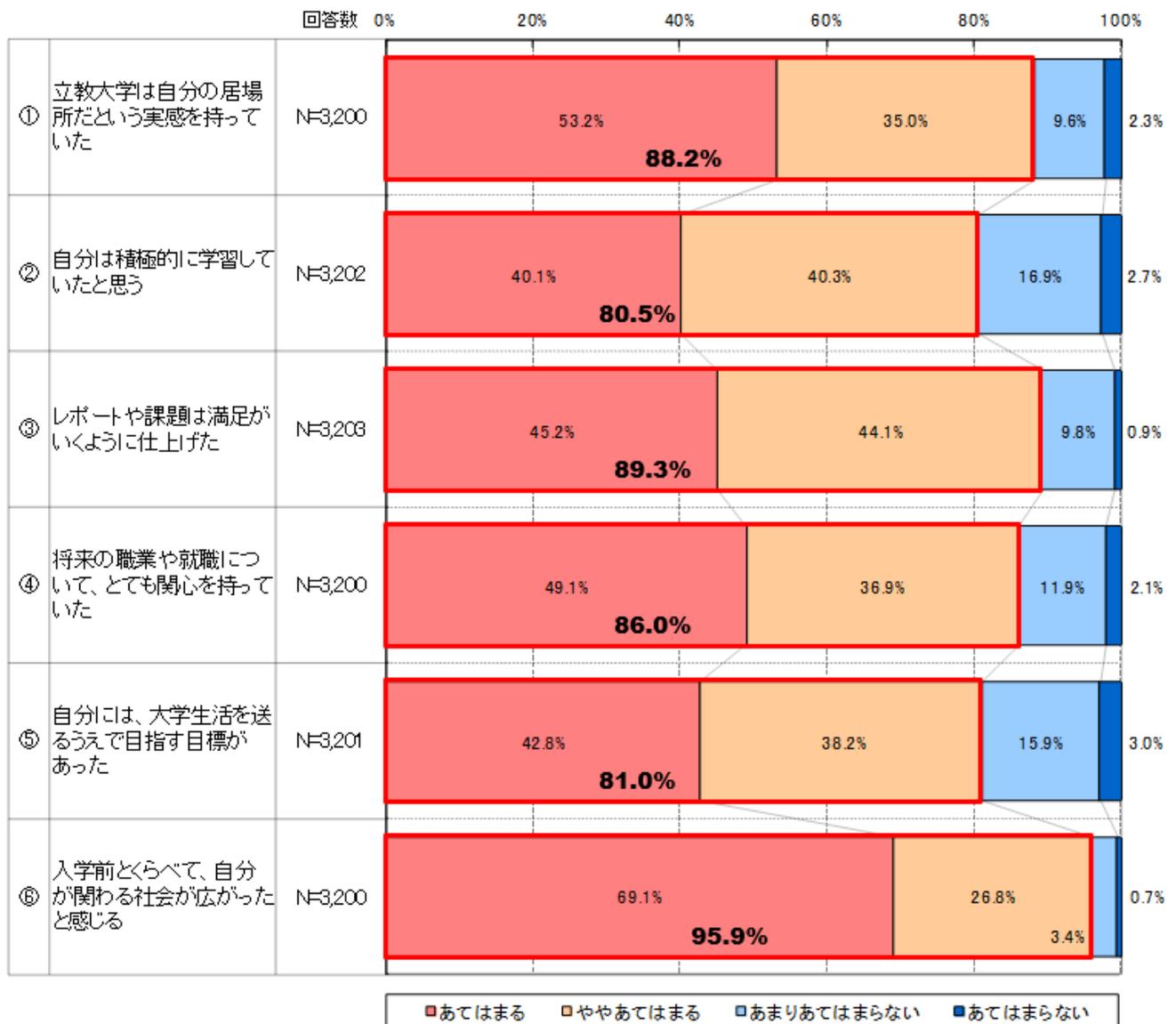
※上記の割合（%）には「していない／あてはまらない」に回答した割合も含めて算出しています。



■力を入れた ■やや力を入れた ■あまり力を入れなかった ■力を入れなかった □していない

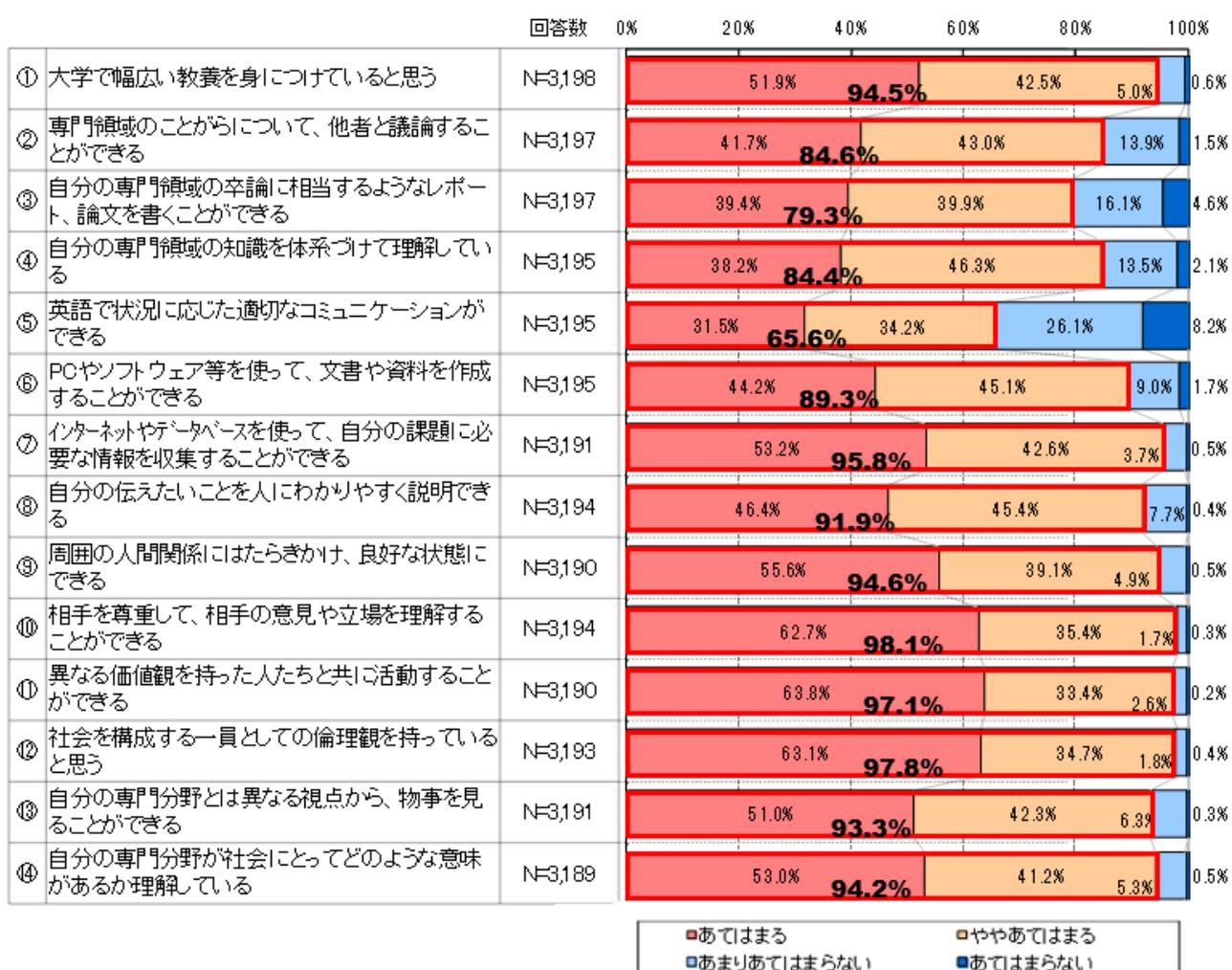
■Q6. 自分自身の状況に関する振り返り

- 大学生活や学修に関する自分自身の状況に関する振り返りでは、6項目のすべての項目で8割以上の学生が「あてはまる」「ややあてはまる」と回答していました。
- 肯定的な回答の割合が最も高かったのは「入学前とくらべて、自分が関わる社会が広がったと感じる」の95.9%であり、「レポートや課題は満足がいくように仕上げた」が89.3%、「立教大学は自分の居場所だという実感を持っていた」が88.2%で続いていました。
- 一方で、肯定的な回答の割合が最も低かったのは「自分は積極的に学習していたと思う」の80.5%でした。



■Q7.-1 「立教大学 学士課程教育の目的」の学修成果

- 立教大学の学士課程教育の目的（ディプロマ・ポリシー）と関連する各項目では、14項目のすべての項目で半数6割以上の学生が「あてはまる」「ややあてはまる」と回答していました。
- 肯定的な回答の割合の回答が最も高かったのは、「相手を尊重して、相手の意見や立場を理解することができる」の98.1%であり、次いで、「社会を構成する一員としての倫理観を持っていると思う」が97.8%、「異なる価値観を持った人たちと共に活動することができる」が97.1%で続いていました。この3項目はいずれも「あてはまる」が6割を超えており、「あてはまる」と回答した割合の高さが目立ちました。
- 一方で、肯定的な回答の割合が最も低かったのは「英語で状況に応じた適切なコミュニケーションができる」の65.6%であり、他の質問項目と比べても「あてはまる」と回答した割合の低さが目立ちました。



■Q7.-2 自分自身の将来に関する評価

- 「自分自身の将来に関して、明確な目標がある」については、「あてはまる」が48.0%、「ややあてはまる」が39.0%であり、肯定的な回答の合計は87.0%でした。
- 「自分の将来について、他の人にうまく伝えることができる」については、「あてはまる」が48.0%、「ややあてはまる」が39.4%であり、肯定的な回答の合計は87.4%となりました。



2025年7月
立教大学 大学教育開発・支援センター 教学 IR 部会